
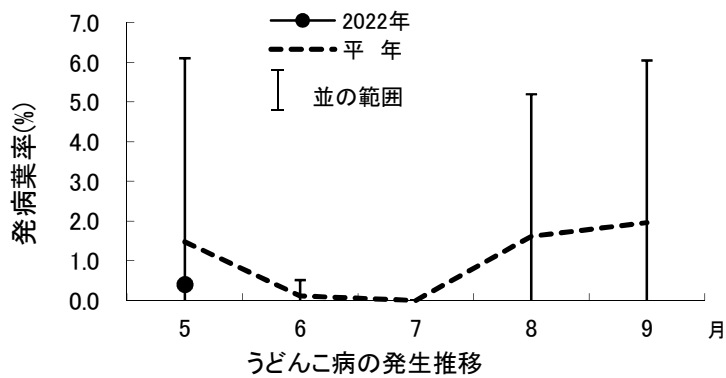


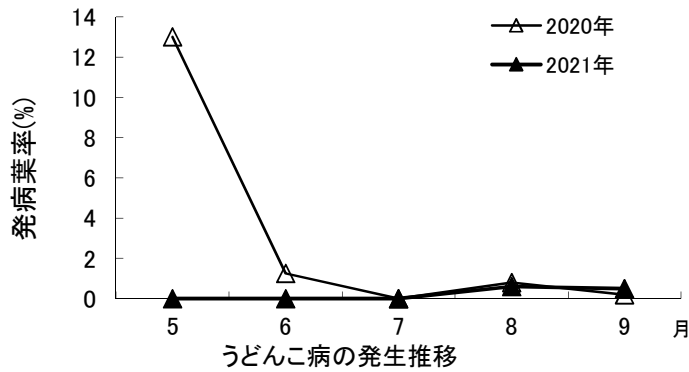
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	① うどんこ病		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	並	
予 報	5 月からの増減傾向	↓	
	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移



・発生ほ場率20.0% (平年45.0%)

防除のポイント

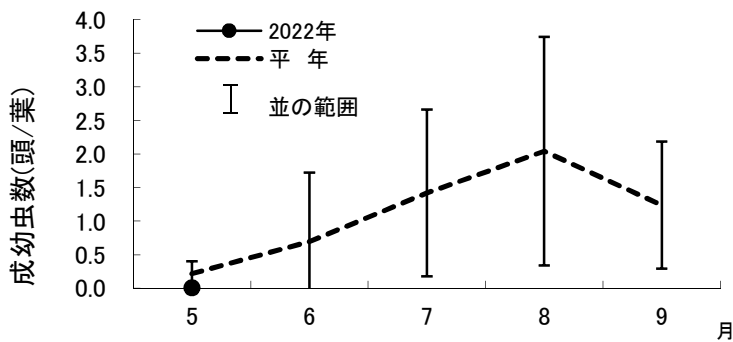
- ・下位の罹病葉や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	フタテンミドリヒメヨコバイ		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	やや少	
予報	5 月からの増減傾向	↗	
	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	



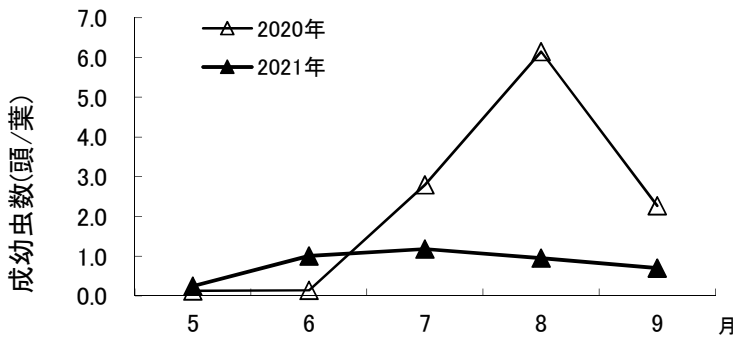
調査結果

今期と平年の推移



フタテンミドリヒメヨコバイの発生推移

過去2年の推移



フタテンミドリヒメヨコバイの発生推移

・発生ほ場率20.0% (平年63.6%)

防除のポイント


・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。



幼虫

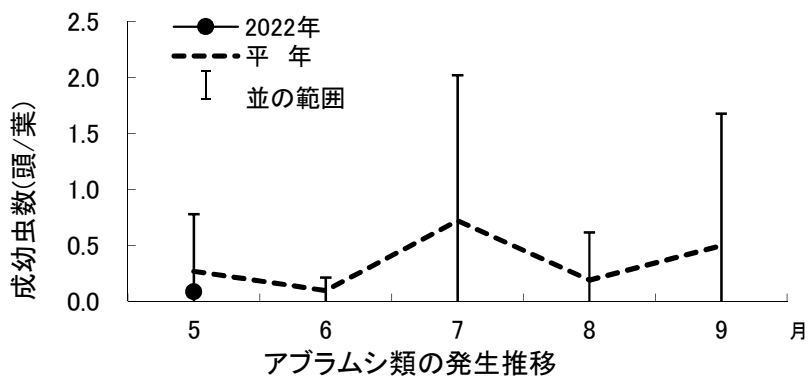


被害葉

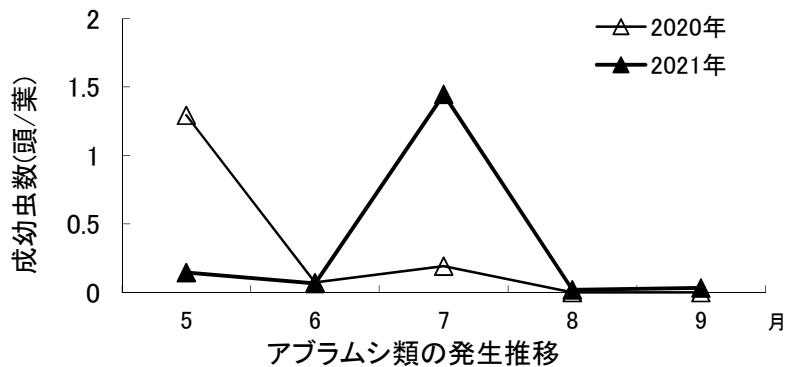
作物	オクラ		地域	沖縄群島
病害虫名	② アブラムシ類			
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	並		
予報	5 月からの増減傾向	↘		
	6 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠			平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果

今期と平年の推移




過去2年の推移



・発生ほ場率40.0% (平年38.6%)

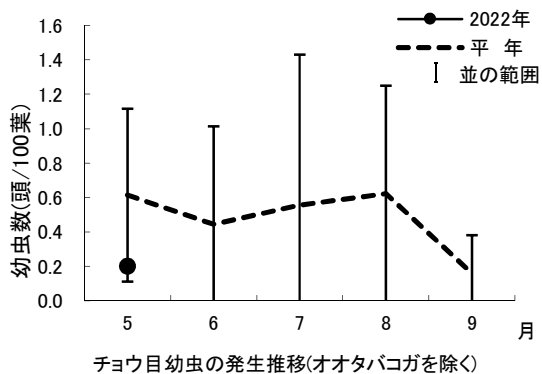
防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

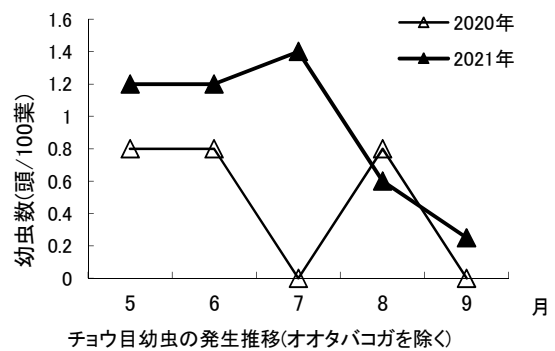
作物	オクラ		地域	沖縄群島
病害虫名	③ チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)			 <p>ハスモンヨトウ</p>
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	並		
予報	5 月からの増減傾向	↓		
	6 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠			平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移



- ・発生ほ場率20.0% (平年36.4%)
- ・発生種 : ハスモンヨトウ

防除のポイント

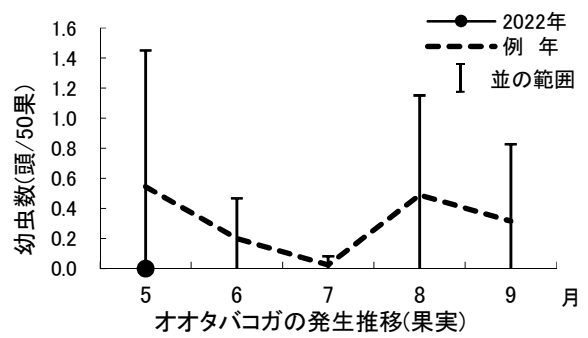
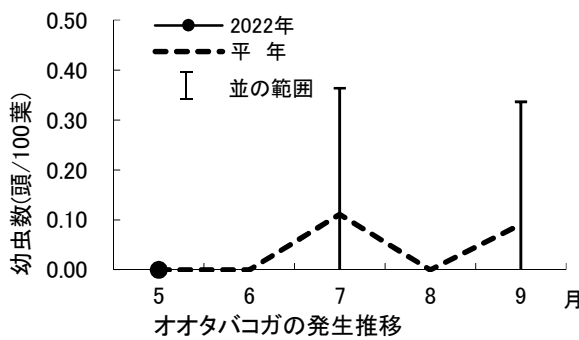
- ・ほ場をよく観察し、幼虫の早期発見に努め、見つけ次第捕殺する。
- ・葉裏や巻き葉内の幼虫に対しては薬剤効果が低下するため、葉にかすり状等の食害痕が見られたら、速やかに薬剤散布を行う。



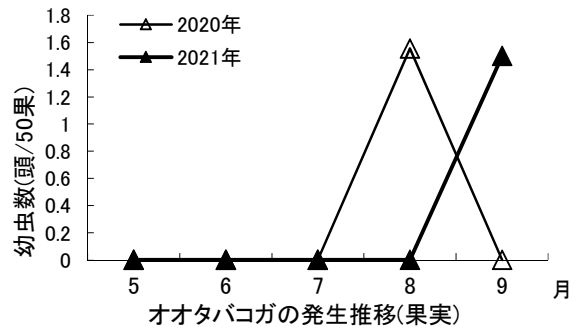
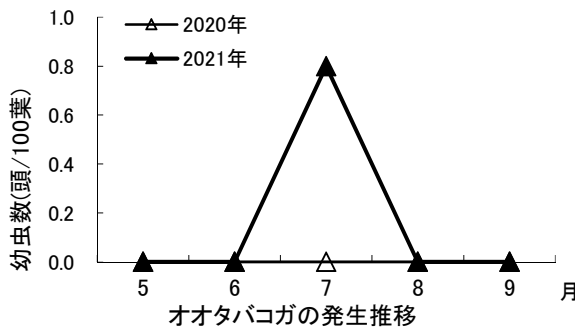
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	オオタバコガ		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予報	5 月からの増減傾向	→	
	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移



過去2年の推移



・発生ほ場率0.0% (平年 0.0%)

防除のポイント

- ・ほ場をよく観察し、幼虫の早期発見に努め、見つけ次第捕殺する。
- ・中齢幼虫以降になると蕾・果実内に食入するため、食入前の若齢幼虫のうちに薬剤防除する。
- ・被害果や摘芯、摘花した腋芽・花蕾等の残さは、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。

若齢幼虫→

